

令和8年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和7年度の振り返りと令和9年度 of 取組検討）

施策No	221							
施策名	スポーツツーリズムの推進 （後期基本計画：スポーツ参画人口の拡大とスポーツによる地域活性化）				施策の目的	● スポーツを目的とした来訪者の増加を図ります。 ● スポーツ大会等の運営に多くの人から協力が得られる体制を整えます。 ● スポーツ大会や合宿等の本市での開催を推進します。		
施策主管部長	産業文化スポーツ部長		施策幹事課長		スポーツ推進課長	関係課	広報ブランド推進課、市民生活課、産業政策課、農政課、農山村振興課、観光推進課	

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察

① 中期基本計画の指標 目標年度(令和7年度)の目標値達成状況

	指標	単位	実績基準値	実績値				目標値	最終年度（R7）の 目標値達成状況	左欄の「目標値達成状況」の総括
			R2	R4	R5	R6	R7	R7		
a	宿泊者のあるスポーツ大会又は合宿の数	件	4	28	28	31	31	40	③目標値を下回った	市が誘致に関わった大会などに限って実績値としているため、実績値は横ばいとなっている。
b	スポーツイベント又は合宿への市外参加者数	人	1,672	7,241	13,447	15,362	23,179	8,500	①目標値を上回った	新型コロナウイルスの影響下で設定した目標値であるため、実績値が目標値を大きく上回った。
c	スポーツ大会、イベント等に協力するボランティア数（延べ人数）	人	32	323	190	110	122	1,800	③目標値を下回った	指標と関りのあるスポーツイベントの規模を縮小しているため、目標値と実績値とに乖離が生じている。
d	スポーツ目的で本市に來訪した人の域内消費額	千円	－	108,558	154,309	185,699	212,561	255,000	③目標値を下回った	推計した域内消費額は、目標値には届かなかったものの、順調に伸びている。

② 後期基本計画 施策の対象・目的及び指標の設定 ※令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート「3. 後期基本計画策定のための施策の必要事項管理シート」から転記

	対象	対象指標	単位	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	R9(見込)	R10(見込)	R11(見込)
①											
②											
③											
④											
											11
後期基本計画では、施策221「スポーツ参画人口の拡大とスポーツによる地域活性化」として再編											
				実績値							

(2) 基本方針の取組状況

① 特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

・クリケットを活用したインバウンド等を推進し、本市の魅力を海外に発信するとともに、経済交流、産業振興、教育・国際交流等へつなげることで地域の活性化を図る。（日本クリケット協会と連携し、SBIカップ・エンバシーカップ等の大会を開催し、在日大使館との交流を図るとともに、本市の魅力を発信することができた。特にインド大使館については、令和6年度に駐日インド大使館インストラクターによる「YOGA MAHOTSAV in SANO」の開催、駐日インド大使館で開催された「栃木デー」への出展、「インドビジネス機会セミナー栃木in佐野」の開催などにより、経済・文化交流を図った。また、国際大会等で訪れた海外チームの学校訪問やクリケットの本場イギリスからコーチを招へし、市内小中学校において、英語でのクリケット体験やイギリス文化に触れる授業を実施し、教育・国際交流を行った。）

② 計画通り進捗していない取組 ※理由及び今後の対応も含めて記載

・スポーツボランティア制度を周知しボランティアの確保を図るとともに、スポーツ大会等の運営にボランティアが協力しやすい環境を整備する。（スポーツボランティアを広報紙で募集したが、目標には届かなかった。スポーツ大会等の開催方法を、マンパワーだけに頼らないものへと毎年度見直していく。）
--

(3) 令和7年度行政経営方針の取組状況

① 令和7年度行政経営方針

・日本クリケット協会と連携し、クリケット国際大会等を積極的に誘致していく中で、今後、本市が策定する国際戦略に基づき、他分野の交流につなげる。また、国際クリケット場として求められる施設整備を行う。 ・栃木県スポーツコミッション等による合宿等のマッチングシステムを活用し、新たな合宿等の誘致を図る。 ・クリケット大会で来訪する外国人をターゲットに、歓迎・サポートや地域DMOが行う市内観光案内及びツアー商品の販売に向け地域DMOと連携し、経済交流の振興を図る。 ・各種大会会場において、本市の魅力を伝え、市内回遊につなげるよう、地域DMOや企業と連携した取組を行う。 ・スポーツボランティアについての理解促進を図るため、SNSや広報紙を活用し、継続的に情報発信を行う。 ・日本クリケット協会と連絡調整を行い、全庁的にクリケットを活用した事業に取り組む。 ・国民体育大会のレガシーを継承して行う各種大会・イベント等に、佐野市スポーツ推進基金を活用し、大会運営の充実を図る。

② 令和7年度行政経営方針の取組状況

・日本クリケット協会との連携により、女子佐野市国際トロフィー、エンバシーカップ、SBIカップを開催するとともに、選手と市内中高生との交流、インド大使館関係者との経済や文化面での交流、本市の特産品の情報発信などを行った。 ・国際クリケット場の施設整備には着手できていない。 ・栃木県スポーツコミッションと連携し、硬式・軟式野球、バスケットボール、ソフトテニスの計5団体の合宿を誘致した。 ・クリケットの大会などにおいて、地域DMOと連携して、観光資源や特産品など、本市の魅力を発信した。 ・スポーツボランティアの拡充を図るため、広報紙で募集を行った。 ・クリケットの大会、特にSBIカップでは、庁内各課の協力を得て、経済・文化交流などの機会を設けた。また市内小・中・義務教育学校において、英語を使ったクリケット体験などを実施した。さらに、本市と企業との連携による職員研修では、クリケットが年間テーマとされ、日本クリケット協会とともに協力・支援を行った。加えて、関係課と連携し、「クリケットのまち佐野」について情報発信するデザインマンホールを作成した。 ・国体の開催を契機に始まったスポフェスを開催し、子どもたちが各種スポーツに触れる機会を設けた。
--

(4) 環境変化や関係者の意見、要望等

・小・中・義務教育学校におけるクリケット体験について、各学校からは、子どもたちに人気があるので継続してほしい、次年度も参加したいとの希望が寄せられた。 ・令和7年度に開催した女子佐野市国際トロフィーにおいて、市内で延べ約600人の宿泊があったことについて、市内商工団体から地域経済にとって大きな効果との評価をいただいた。 ・宿泊事業者に対して、スポーツによる宿泊についてのヒアリング調査を令和7年度に実施した際、複数の事業者から、クリケットを通じた宿泊者数の増加を実感しているとの意見があった。また宿泊者数の維持・向上には、スポーツ施策の取組が有効であり、今後も継続してほしいとの要望があった。 ・国際戦略会議の委員からは、国際クリケット場で開催される大会やイベントには、多くの海外出身者が訪れているが、市民の参加者が少なく、交流の機会を生かし切れていないとの意見があった。 ・国際クリケット場の整備は未着手であり、敷地を有効に活用できていないため、選手の利便性や大会運営などに支障がある。 ・本市が令和7年9月に、栃木シティフットボールクラブのホームタウンに登録されたことに伴い、栃木シティをはじめ県内のプロスポーツチームと連携した取組を拡大することについて、議会から要望があった。

2. 課題と次年度（令和9年度）の取組

(1) 課題

①国際クリケット場への市民の来場、および市民の「クリケットのまち佐野」に対する理解 ②国際クリケット場の整備の方向性が未定 ③プロスポーツチームとの連携強化および各事業への展開
--

(2) 課題に対する今年度(令和8年度)内の取組状況、予定

後期基本計画では、 施策221「スポーツ参画人口の拡大とスポーツによる地域活性化」として再編

(3) 次年度(令和9年度)の取組(案)

後期基本計画では、 施策221「スポーツ参画人口の拡大とスポーツによる地域活性化」として再編

※重点取組は太字・下線で記載